



充実した2学期となりました！

長い2学期が無事終了しました。12月25日(木)に終業式をTV放送で行い、2名の代表児童が、今学期頑張ったことや冬休みに取り組みたいことなどを全校に伝えました。児童代表の言葉の一部をお伝えします。

【児童代表の言葉（一部抜粋）】

✎ 1年生児童

私は、2学期に頑張ったと思うことが3つあります。一つめは、算数の計算です。繰り上がりのある足し算や繰り下がりのある引き算の練習を頑張りました。エイリス検定で、どちらもAランクになれてうれしかったです。二つめは、国語で習った漢字を覚えたことです。2学期には、片仮名や漢字をたくさん覚えることができました。…



✎ 4年生児童

私にとって2学期は、頑張ってよかったなと思うことがたくさんある学期になりました。…二つめは、2学期の学級委員選挙に挑戦したことです。私は4年生になったら学級委員になってみたいと思っていました。選挙をして選んでもらえたので、クラスのために頑張ろうと思いました。なってみると、みんなをまとめることは、とても大変でした。でも、自分の時間を使ってクラスをまとめるために働いているときは、やりがいを感じました。…



潮見小学校の2学期を振り返ると、各学年でこれまで続けてきたことを大事にしたり、新たなことに挑戦したりしていました。やまぶきは、生活・学習習慣の基礎・基本の定着、体力づくりの充実を図っていました。1年生は、生活科や図画工作科で子どもたちの感性や創造力を育てました。2年生は、体育科を通して小集団での活動や学習指導の工夫を図りました。3年生は、地域とのつながりを大切にしながら「ふるさと潮見」を愛する心を育てました。4年生は、福祉体験の中で県立松山盲学校と交流を行い、目の不自由な方への理解を深めました。5年生は、防災教育に取り組み、日頃からの準備や心構え、早期の避難の重要性を学びました。6年生は、外部講師を招いて、日本や世界の文化や平和の尊さを学び、自分たちにできることについて考えました。学校全体では、学力向上推進を図るために、定期的なE・I・L・S計算検定を実施して、少しずつ計算の基礎・基本の定着が見られるようになりました。



このような取組を通して、2学期は潮見っ子の成長が感じられるものとなりました。子どもたちも、それを実感しているのではないかと思います。今後につなげるためにも、保護者の皆様には通信簿を基にしながら、子どもたちと一緒に学校生活について話し合ってみてください。何を頑張り、どんなことが成長したのかを子どもたちに尋ね、その上で励ましの言葉を掛けていただくと、来年に向けてのやる気がアップするのではないのでしょうか。

学校では、「冬休みのくらし」や「町別児童会」などを通じて、校外生活の過ごし方（特に交通事故、SNSトラブル、金銭等の取り扱い）には、十分気を付けるよう指導しています。安全で楽しい冬休みになるよう、ご協力をお願いいたします。

終業式で全校に伝えたことを掲載しています。

令和7年度 第2学期 終業式 式辞

今日で2学期が終わります。

この2学期で、自分自身がどんな成長をしたのか、しっかり振り返っておきましょう。

さて、1年で一番長い2学期には、いろいろな活動がありました。

今から、各学年が取り組んだことを写真で紹介します。どの活動にも言えることがありますので、それを探しながら見てみましょう。

やまぶきは、潮見小学校の近くにある松山盲学校でバリアフリー演劇を見ることができました。ハロウィンパーティーを計画して楽しんだり、身の回りの整理整頓について学んだりしました。



1年生は、学校や公園で虫をいっぱい見つけました。秋を探したり、どんぐりやまつぼっくりなどを使っておもちゃを作ったりしました。幼稚園、保育園の子どもたちと一緒に楽しく遊ぶこともしましたね。

2年生は、1学期で行った町探検をさらに広げて、潮見地区のお店や施設を調べました。自分たちで育てたさつまいもを収穫したり、体育科の学習でシュートゲームを工夫して楽しんだりしました。

3年生は、地域の獅子舞を見たり、潮見ふるさと音頭を踊ったりしました。伊予柑農園の見学をすることで、潮見地区で生まれた宮内伊予かんについても理解することができました。



4年生は、松山盲学校の先生と一緒に活動をして、目が不自由な方のことについて理解を深めました。福祉体験で、介助の仕方や点字のつくり方なども学び、思いやりの心を育てました。

5年生は、集団宿泊活動で協力することの大切さを実感しました。今年度から始まった防災学習にも取り組みました。11月に、5年生が計画、運営したスハミラタイムは、大成功でした。



6年生は、修学旅行で友達と一緒に貴重な体験をしました。連合音楽会ではみんなと心をつなげて合唱、合奏を披露しました。いろいろな方から、平和の尊さ、国際理解の重要性を教えてくださいました。

では、どの活動についてもいえることはどんなことだったのでしょうか。答えはいろいろあると思いますが、校長先生が考えているのは2つあります。それは、「地域や人とかわる」と「体験すること」の大切さです。



潮見地区は、みなさんが生まれ育った場所です。地域と関わることでそのよさを知ることができます。人と関わることで自分とは違う考え方、新しい情報を知ることができます。体験をすることで、こうすればいいんだ、こうなっているのだ、ということが分かります。もっと知りたい、もっとやってみたい、という意欲にもつながります。

これからも、潮見っ子の皆さんには、どんどん地域や人と関わってほしいと思います。そして、いろいろなことを体験してほしいと思います。

13日間ある冬休み。家族や親せきなど、人と関わる機会がたくさんあります。そして、長い休みでしかできないこともたくさんあるはずですよ。冬休みを「関わること」や「体験すること」に使ってほしいと思います。

では、安全で楽しい冬休みを過ごし、3学期、元気に会いましょう。よいお年をお迎えください。